

## 小論文（美術文化専攻）

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子は開かないこと。
- 2 この問題冊子はページ番号1から2までの2ページです。
- 3 解答用紙は、2枚です。  
解答は解答用紙に横書きとし、句読点等も1字分として、指定された字数内にまとめること。ただし、題・氏名は記入しないこと。
- 4 受験番号は解答用紙の指定欄に記入すること。
- 5 下書き用紙は2枚です。裏表とも使用は自由です。
- 6 解答用紙のみを提出し、問題冊子・下書き用紙は、試験終了後持ち帰ること。なお、いかなる理由があっても解答用紙以外は受理しません。
- 7 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等により交換を必要とする場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

## 問題

美術家飯田善國はピカソについて「十歳で どんな大人より上手に 描けた 子供の  
ように描けるまで一生 かかった ピカソ の 秘密 を 世間は ほ・ん・と・う に  
わかったのか？」\*1) と書いている。ピカソが追求したことを述べた後に、自分の体験や具  
体例を挙げながら、芸術についてあなたが考えるところを述べなさい。字数は 1400 字以上  
1600 字以内とすること。(600 点)

\*飯田善國『ピカソ』20世紀思想家文庫5,岩波書店,1983,p290